

ともに輝き ひびき合う子 つながりを生かして学びを深める子

未来に向かって 翼を大きく広げて 羽ばたけ井土っ子

校 長 鈴木 正憲

巣立っていく6年生は、正面から素直に人の気持ちを受け止め、心から喜べる、一人ひとりが自分や友達のよさを見付け、自分らしさを表現し、友達と切磋琢磨しながら支え合い、高め合う集団へと大きく成長しました。みん

なから愛され、在校生の「あこがれ」となった6年生は、中学校でも美しい大きな花を咲かせてくれることでしょう。本校の教育を理解し、共に支援してくださった保護者、地域の皆様のおかげで「開花」を迎えることができました。PTA、ボランティアの皆様が多岐に渡って井土っ子をサポートしてくださいました。また、子どもの安全のために毎日通学路に立って見守り活動をしてくださった地域の皆様、保護者の皆様に心より感謝申しあげます。このような、バックアップがあるからこそ、職員の意欲が高まり、全力で子どもたちの指導や支援をすること



6年生 校外学習 2月15日

ができました。3月19日(火)に行われます第89回卒業証書授与式では、保護者、地域の皆様と共に子どもたちの成長を喜び、門出を祝福したいと思います。

過日実施いたしました「みんなの井土ケ谷小アンケート(学校評価)」「中期学校経営方針の重点取組分野の振り返り」結果をお知らせします。これからも、子どもたちがさらに輝けるように、職員一同力を合わせて努めてまいりますので、引き続き皆様のご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

≪児童・保護者アンケートの結果≫

	
「学校スローガン「バタフライ」に向かって学習や行事、学校生活を行っている」	93%
「めあてに向かって学習に最後まで取り組み、	
自分の考えをいろいろな方法で伝えることができている」	88%
「友達との関係を大切に協力し合い、学習や行事に取り組もうとしている」	94%
「自分の体を大切にし、健康に過ごそうとしている」	95%
「先生や友達、地域の方にあいさつをしている」	92%
「楽しく学校に行っている」	91%
「授業でタブレットを使って学習したり、本で調べたりすることは楽しい」	95%
「読書が好きである」	77%
「友達と仲良く過ごしている」	95%
「いじめは何があってもゆるされないことだと思っている」	92%
「学校でのルールやマナーを守っている」	92%
「地震、火事など災害の時、安全な避難の仕方を知っている」	97%
「交通事故等に合わないように道の使い方に気をつけている」	97%
「先生たちは、あなたのがんばったことや良さを認めている」	94%
「先生は困っているときに相談にのってくれる」	95%
「先生は分かりやすい授業にしようとしている」	97%
「算数コース別学習では、楽しく学習している」(4・5・6年生)	95%

「めあてに向かって学習に取り組み、自分の考えを表現しようとしている姿が見られる	5か」86%
「友達と仲良く過ごしている」	94%
「生活リズムを整え、健康に過ごそうとしている」	87%
「お子さんは先生や友達、地域の方にあいさつをしている」	90%
「楽しく学校に行っている」	89%
「読書をしている」	47%
「学校でのルールやマナーを守っている」	95%
「交通安全を意識して登下校している」	95%
「先生はお子さんのがんばったことや良さを認めている」	92%
「先生はお子さんの困っているときに相談にのっている」	86%
「先生は分かりやすい授業になるように努めている」	95%
「学校は子どもの安全を考慮し、事故防止に努めている」	93%
「学校は学校だよりや学年だより、HPやメール配信等で必要な情報を伝えている」	89%
「算数習熟度別少人数授業では、楽しく学習している」(4・5・6年生)	86%

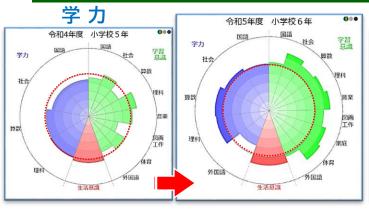
≪児童アンケート・保護者アンケート結果の分析≫

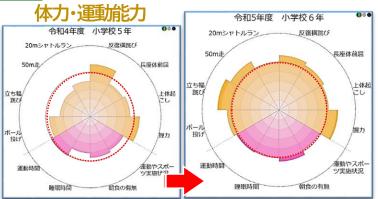
- ◇ 算数習熟度別少人数授業や生活科・理科の研究を中心に、教師が授業の工夫改善を行っていることが児童や保護 者にも伝わっています。児童が分かる喜び、できる喜びを感じ「授業が楽しい」と思えるようになっていることが、 今年度実施の全国学力・学習状況調査や横浜市学力・学習状況調査の結果にも現われています。
- ◇ 職員は、児童のよさを認め、励ましていたり、児童が困った時に相談にのったり、きめ細やかな児童支 援に努めていることが、児童や保護者にも伝わっています。今後も職員の感度を高め、些細な児童の変化を見逃さ ず、担任だけで抱え込むことなく、組織的な児童支援に努めていきます。
- ◇ 井土ケ谷の児童支援「い」は命を大切にするというキャッチフレーズが職員にも児童にも定着し つつあり、安全に対する児童の意識が高まっている様子が見られます。自分の身を守る判断と行動 を自分でするという意識をもった児童が育ってきています。今後も過費制練の内容を見直す など、安全教育に力を入れていきます。
- ◇ 読書に関しては、週1回の朝読書や読書センターの充実など手立てを講じてきましたが、児童 の読書習慣の形成には至っていません。
 - 今年度の結果を受けとめ、読書好きな子どもが増えるように取り組んでいきます。



《横浜市学力·学習状況調査 令和5年度6年生 経年比較》

※ 赤の点線が横浜市平均値





≪中期学校経営方針に関わる評価アンケート結果の分析≫

- ※ 教職員による中期学校経営方針の重点取組分野の振り返りとアンケート結果を合わせて評価しています。
- ※ 評定は4点満点です。3.2(80%)以上を A 2.4(60%)以上を B 2.0(50%)以上を C としています。

重	点取組分野	児童	保護者	教職員	総合評定
1	生きてはたらく知	Α	Α	Α	Α
2	豊かな心	Α	В	В	Α
3	健康教育	Α	В	Α	Α
4	安全管理 地域連携	Α	Α	В	Α
5	いじめへの対応	Α	Α	Α	Α
6	人材育成・組織運営 (働き方)			В	В
7	アクティブ センター構想	Α	В	В	В
8	特別支援教育	Α	Α	В	Α
9	児童支援	Α	Α	В	Α
10	地域学校協働活動		Α	В	В



欠元バ-



6年 生 キッザニア東 京



≪中期学校経営方針に関わる評価アンケート結果の分析≫

◇ どの項目も児童アンケートの結果が最も高いことから、児童の満足度は高いことがうかがえます。児童 アンケートの結果よりも保護者アンケートの結果が低くなっています。学校として取り組んでいる内容を 保護者に理解して頂けるよう、次年度は家庭へさらに「伝わる」情報発信を目指します。